令和５年度

言語文化

１１　新潟翠江高等学校（通信制）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
必履修	2	6	2	2

教　科　書	学習書・副教材等
新編言語文化（東京書籍）	学習書：新編言語文化　学習課題ノート（東京書籍）

学　習　目　標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、読書に親しみ自己を向上させ言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学　習　内　容　・　学　習　計　画

（１）現代文「雨漏りの音」　（第１回レポート）
（２）古文　古文に親しむ／『今鏡』「用光と白波」　（第２回レポート）
（３）現代文　「柳あをめる【短歌】」　（第３回レポート）【（１）～（３）前期試験範囲】
（４）漢文　訓読の基本／『孟子』「五十歩百歩」　（第４回レポート）
（５）現代文「デューク」　（第５回レポート）
（６）現代文　「雪の深さを【俳句】」　（第６回レポート）【（４）～（６）後期試験範囲】

学　習　方　法

【レポート】
随筆や小説、古典など、様々な文章が扱われています。教科書はもちろん、学習書を参考にして学習を進めてください。ただし学習書の解説を丸写ししても正解にはならないこともあります。また自分で考えて解答する問題もあります。一つ一つの設問について自分自身の力で取り組みましょう。全ての問題に解答せずに提出した場合、努力して学習したとはみなさず不合格になります。自分の力で答えを書こうとすることが重要です。レポートの表紙の裏の注意事項もよく読みましょう。
【授　業】
授業ではレポート問題の解説も行いますが、レポート以外の学習も取り入れます。主体的な学習活動も行いますので、授業に出席する前に教科書を読み準備してきてください。教科書・学習書を忘れずに持ってきてください。
【試　験】
試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。返却されたレポートを見直して試験に備えてください。

評　価　規　準　と　評　価　方　法

レポートの評価、試験の成績を総合して評価します。
６回のレポートすべてが合格し、授業に２時間以上出席し、試験の平均点が 30 点以上であるということが、単位認定の目安です。レポートの評価は以下の観点から行います。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解し、文章の意味を文脈の中でとらえ、時間の経過や文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解している。	自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫し、我が国の言語文化について論述したり発表したりしている。また異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較し、論じている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

担　当　者　よ　り　一　言

教科書をしっかりと読み、学習書を参考にしてレポートに取り組んでください。レポートの問題についてよく考え、無解答を残さないようにして提出しましょう。また、義務時数は多くはありませんが、日常生活に役立つ内容を学習するので是非出席してください。授業に出席してもわからない問題があるというときは遠慮せず質問してください。
なお、レポートは、皆さんが自学自習で身につけた力を確認するためのものです。レポートで取り上げられている教材以外の作品等もしっかりと読み、学習書を参考にして学習を進めてください。